



提供 / 東京藝術大学藤村研究室

島の魅力を育て、新たな未来都市に!

PORT ISLAND

ポートアイランド・リボーンプロジェクト

Reborn PROJECT



新たな未来都市を創造する「ポートアイランド・リボーンプロジェクト」。島内で暮らす人、働く人、学ぶ人との話し合いや意見交換、社会実験を重ねながらプロジェクトを進めてきた藤村龍至さんにお話を伺った。



東京藝術大学准教授・RFA主宰
藤村 龍至さん

中央都市軸沿いを活性化し、島全体を活性化
ポートアイランドの印象は？

私が子どものころ、神戸生まれの父の実家が灘区にあり、時々遊びに来ていました。当時は日本初コンピュータ制御のポートライナーが走っている。未来都市というイメージがありました。40年ほどたち、高齢化や建物の老朽化などが進んでいます。いろいろな産業が集結し、自然豊かなかつての未来都市に対して、市民の皆さんの関心が薄れてきていると思います。こんなに良いところなのに「もったいない」という思いがあります。

**そこで、ポートアイランドに
関しての、まちづくりの考
方を提案されたのですね。**

神戸のまちづくりに長年携わってこられた小林郁雄さんと親交を持つようになり、ポートアイランドに関する1970年代の基本設計や議事録などの資料を譲って頂いて読んで



再開発が進む三ノ宮駅へも好アクセス※パースはイメージであり、今後の設計及び関係機関との協議により変更となる場合があります

り、それらに関わった建築家の水谷顕介氏について調べたりしていました。ふだんから新聞のコラムなどに神戸愛を書いているうちに、久元喜造神戸市長にインタビュする機会も頂きました。神戸市は、私が今まで関わってきたまちの中でもさいたま市大宮とよく似た状況であ

ることを理解し、それぞれの課題や解決策について両市の職員や住民の皆さんと訪問し合いい話し合うなど交流する場をつくったりしました。そんな時に、ポートアイランド・リポーンプロジェクトのお話を聞き、神戸市に対して私の考えを提案させていただき将来像の調査から関わらせて頂くことになりました。

どんなまちづくりをイメージした内容だったのですか。

現代のまちづくりは、広場や緑道など公共空間、道路、河川や港などの公有地の経済を賑わい創出などでまず活性化し、周辺の民有地の経済を活性化するという考え方になってきています。この考え方は10年ほど前から各地で採用され、関西では大阪市の難波や天王寺、梅田界隈、神戸市の三宮駅周辺などにも取り入れられています。ポートアイランドにおいてこの考え方をどう取り入れるかについて、基本的にはポーターライナーが通っている中央都市軸

沿いの公有地を活性化し、島全体の活性化につなげようというものです。ポーターライナーの混雑を避けて神戸大橋を歩いて渡って出勤する人たちの様子は、イーストリバーの大きな橋を渡るニューヨーク・ブルックリンの朝の風景を見ているようです。ブルックリンは、川沿いの倉庫街を住宅にしたり、空き倉庫を改修してクリエイティブ産業に携わる人たちのオフィスに変えたりして、トレンドを発信するおしゃれなまちに生まれ変わりました。ポートアイランドでも、そこにあるものをうまく生かしながら環境全体を考えていくことで、可能性が広がるのではないのでしょうか？という提案をしたところ、久元市長から「違和感ないのでそのまま進めましょう」と共感を頂きました。

仕事がいやしく、環境もすばらしい

その後、プロジェクトをどのように進めてこられたのですか。

Street Management
ストリートマネジメント

みんなで、
歩きたくなるまちに変えよう!

- いつでも歩きたくなる楽しい道をつくる
- 立ち寄りたくなる魅力ある店をつくる
- 椅子や緑があって、長く居たくなるまち

Active Design
アクティブデザイン

島の自然を探し、
みんなで健康になろう!

- 朝も昼も夜も、あいさつが行き交う緑の道
- 海沿いの丘を、淡路島を眺めながら走る
- 自転車やあたらしい乗りもので、軽やかに移動

Nature-based Solutions
自然を基盤とした解決策

島の気候と生物多様性を活かして、
いきいきとした島にしよう!

- 樹木の陰や水をデザインし気温を下げる
- 魚がすみ、渡り鳥がつどう池にひとも集まる
- 緑豊かな島で、いきいきと暮らし、学び、働く

港の島を、結び直し、
新しいポートアイランドに!

ポートアイランド・リボーンプロジェクトの核となる
3つのコンセプト

まず16団体、約200名の方からお話を伺って課題を洗い出し、道や広場の管理運営方法を工夫して歩きたくなるまちに変える「ストリートマネジメント」、島の自然と公共空間や建築のあり方を工夫して人が健康になれるまちにしようという「アクティブデザイン」、豊かな緑や生物多様性などの自然を基盤として解決策につなげる「ネイチャーベースド・ソリューションズ」というキーワードにまとめました。シンポジウムと社会実験を行い、通常はそこでビジョンの策定に入るので、ポートアイランドの中にいる皆さんと一緒に市民提案としてまとめる時間を頂きました。島内を6つのクラスターに分け、住宅エリアでは全住民に対してアンケートを実施しました。「高齢化が進むなか、人とつながれる場をつくってほしい」「外出先の選択肢を増やして豊かな日常を」「若い人が流入するような活気あるまちづくりを」などさまざまな意見ががりました。また企業・大学の方からのご意見も頂き、それら全体を取りまとめて市民提案という形で神戸市



ポートアイランド・リボンシンポジウム2025ファシリテーターを務める

に提出する予定です。これらを踏まえて、神戸市としてのポートアイランドのまちづくりの大きな方向性として将来ビジョンが策定される予定です。

暮らしを楽しめる場所になりそうですか。

島内を早朝にジョギングしていると、住民の方が南公園でラジオ体操や大極拳をやっておられて、空港島方面やしおさい公園



ポートアイランドの憩いの場となるしおさい公園

までウォーキングしたり、海やまちを一望しながらひと息ついたり、島内での暮らしを十分に楽しんでおられます。それがあまり知られていないのは残念です。東京から来て医療産業都市で働く方から「仕事がしやすく、環境もすばらしい。ポートアイランドが好きで休日でも遊びに来ることもあり、できることなら島の中に住みたい」という声を聞きますが、島内に条件を満たす住居が少ないのが現状です。



神戸空港第2ターミナル。2025年4月より国際チャーター便の運行が開始された

また、大学に通っている学生さんもたくさんいますが、ニーズに合わせる住居がありません。環境を整えば、若い人たちが流入して活気が出ると思います。

官民一体で市民と共にポートアイランドの未来を描く

ポートアイランドに、新たな未来を期待できるのでしようか。



藤村 龍至(ふじむら りゅうじ)

1976年東京生まれ。アール・エフ・エー主宰。東京藝術大学准教授。アーバンデザインセンター大宮(UDCO)副センター長/ディレクター、鳩山町コミュニティ・マルシェ総合ディレクター。神戸市では「ポートアイランドの将来像研究」をきっかけに「ポートアイランド・リノベーションプロジェクト」に関わる。



阪神高速大阪湾岸道路西伸部の完成イメージ図

期待できると思います。まちへの投資は40〜50年の周期で盛り上がり、の時期を迎えます。今は万博が開催された夢洲を中心に大阪の湾岸都市開発が盛り上がり、神戸とポートアイランドはちよつと出遅れているように見えるかもしれません。しかし、次は神戸の番、というのは確かです。三宮の再整備が進み、2030年には神戸空港が本格的に国際化となります。さらに近い将来、阪神高速大阪湾岸道路西伸工事が完了して東

西がつながると、ポートアイランドの位置づけも大きく変わってきます。

市民にできること

ポートアイランドの近過去を振り返り、すばらしさを再発見することではないでしょうか。今後、神戸市がビジョンに沿って進めていく事業に企業にも興味を持っていただき、官民一体で市民と共に盛り上げていけば、ポートアイランドの未来が再び見えてくるはずです。



ポートアイランド・リボーンプロジェクト これまでの取り組み

実現に向けて進行するポートアイランド・リボーンプロジェクト。その一歩として社会実験を行い、
将来ビジョンを策定していきます。これまでの取り組みについて紹介します。

ポートアイランド・リボーンシンポジウム

2025.5.19

2024 年度の取り組みと成果を共有し、さらに 2025 年度以降の
取り組みや今後のまちづくりの方向性について意見交換を行うこ
とを目的にシンポジウムを開催



ポートアイランドまちあるきスタディ

2024.2.10

島内のパブリックスペースを中心に、有識者と市民の皆さんが
いっしょにまちを歩きながら、まちの課題や将来像の方向性につ
いて意見交換を行うワークショップを開催。



ポートピア・ストリートフェス 2025

2025.10.4

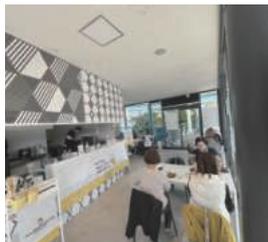
ポートアイランドの一体感を醸成するために、ポートピア大通り
と市民広場のほか、新たに医療センター駅周辺も会場に加えて、
賑わいづくりの社会実験を実施。



南公園ステーションキッチン社会実験

2024.10.26-12.09

島内の飲食環境の改善や人々の交流機会を創出することを目的
に、40日間限定でシェアキッチンを営業する社会実験を実施。



もっと魅力が集まる島へ。
 未来への取り組みは、もうはじまっています。
 ポートアイランド・リボーンプロジェクトのこれから

ポートアイランド・リボーンプロジェクトの
 最新情報は神戸市 HP をご覧ください。
https://www.city.kobe.lg.jp/a74227/pi_reborn.html



検討中 地域活性化拠点の整備

大阪湾岸道路西仲部の開通に併せて、地域の賑わい創出につながる拠点の検討を行います。※2025年10月から一部エリアについて暫定的に芝生広場として供用開始



検討中 MICE 誘致の競争力強化

国際会議や展示会が開かれる施設のリニューアルのあり方の検討を行うため、大規模改修、機能拡充、民間資金を活用した事業手法などの調査を行います。



検討中 ポートアイランドスポーツセンターの再整備

水泳・スケート競技及び市民のスポーツ振興の新たな拠点として、再整備を行います。



実施中 緑化の推進（中央緑地軸の再整備）

公共空間の質を高めるための取り組みの一環として緑化の充実を進め、人々の憩いの場となる緑豊かな滞在空間を創出するために、再整備を進めています。



医療センター駅前のシンボルツリー
 (日西神戸ゴルフ場から緑樹)

実施中 PORTOPIA DESIGN WALK 2024

ポートピア大通りと緑道を一体化したウォークアブルな公共空間を創り出す「ポートピア大通りヒロバ化実験」を開催しました。



実施中 港島学園の校舎一体化整備

小中一貫教育をさらに推進していくため学園内の大規模改修に併せて、前・後期の校舎の一体化整備を行います。

実施中 青少年科学館のリニューアル



複数年にわたって全館の大規模リニューアルを実施します。

実施中 中高生の居場所づくり社会実験

南公園レストハウスを活用し中高生を対象としたユースステーションのほか、マルシェや交流イベントなど、地域の人とまちがつながる社会実験を実施します。



実施中 神戸ポートアイランド おおぞら農園

事業地を暫定利用したまちの活性化の取り組みの一つとして進めている市民農園。定期的な収穫体験イベントなども実施。

